

平成28年2月19日

平成27年旅券統計

- 1 本19日、外務省は、2月20日の「旅券の日」(注)に合わせて、平成27年(暦年)の旅券統計を発表しました。
- 2 旅券の発行総数は、前年比2%増の約338万冊でした。このうち、国内での発行数は約328万冊で、全体の97%にあたります。また、平成27年末時点における有効旅券数は約3,058万冊で、国民の4人に1人が旅券を所持している計算になります。
- 3 一般旅券の年代・性別発行数を見ると、年代では30歳未満の割合が全体の約45%を占めています。男女比では、女性が約51%を占めますが、20代では女性が約56%と突出しています。そのほか、一般旅券の紛失・盗難件数は、約3万8,000件(前年比2%減)で、このうち81%が日本国内において発生しています。
- 4 なお、本年は、慶応2(1866)年に江戸幕府が初めて海外渡航文書を発給してから150周年、また平成18年に現行のIC旅券を発行してから10年という節目の年にあたります。

注：旅券の日

明治11(1878)年2月20日、海外旅券規則が制定され、法令上初めて「旅券」の用語が使用されたのを記念して、平成10(1998)年に制定された。

〔参考〕旅券統計詳細

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/tokei/passport/index.html>